



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

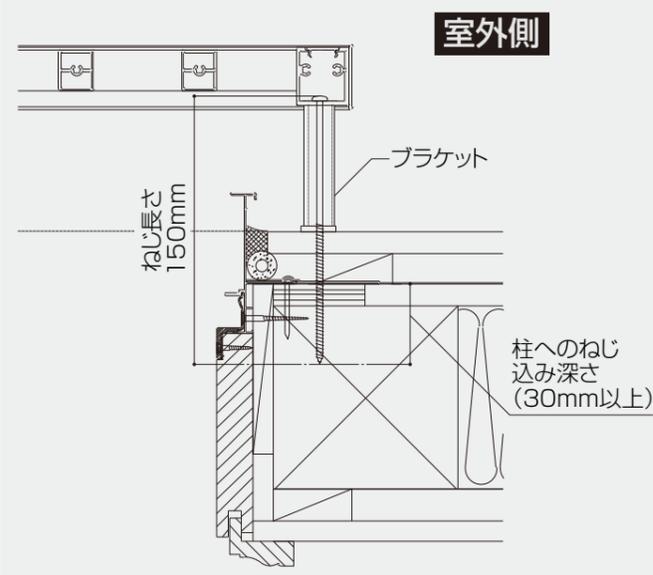
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・面格子は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度はありません。
 - ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には取付けないでください。
 - ・取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
 - ・通気工法の場合、取付け部に胴縁があることを確認してください。
 - ・外壁の下穴は必ず柱のある部分にあけてください。柱のない部分にはあけないでください。
 - ・外壁の下穴は、柱まであけないでください。
 - ・ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
 - ・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
 - ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ類を、指定の数量使用してください。
 - ・面格子取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。
- 本製品重量は最大13Kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。コーキング材を充てんしないと漏水の原因となります。
- 防犯性能を確保するため、躯体へのねじ止め後、必ずねじ頭の十字穴を削ってください。

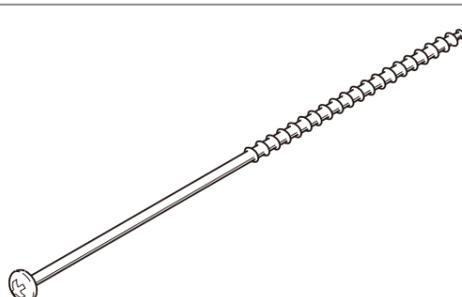
■柱へのねじ込み深さ



■躯体・外壁材の確認

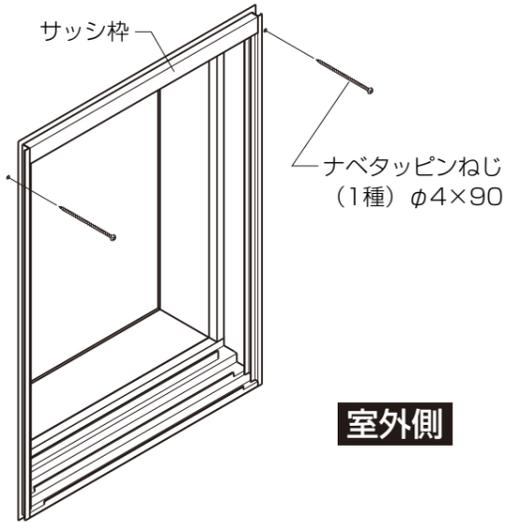
- ①外壁厚みは42mm未満になっていますか。42mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
- ②外壁の種類は窒業サイディングもしくはモルタル壁ですか。その他の外壁には取付けできません。
- ③固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。
- ④取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。

■取付け部品一覧

ナベタッピンねじ (1種) $\phi 5 \times 150$	ナベタッピンねじ (1種) $\phi 4 \times 90$
	
(8本入)	(2本入)

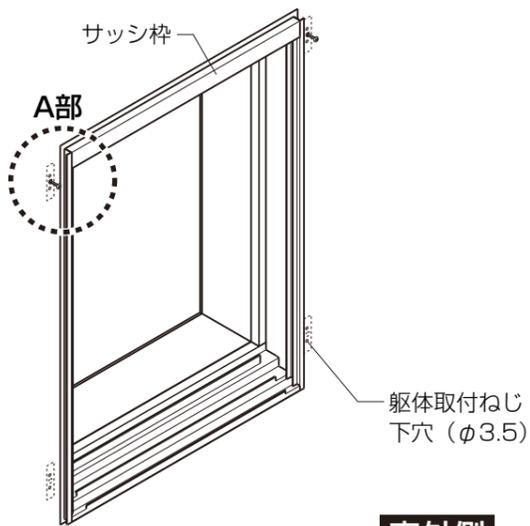
■取付け順序

1 仮止めねじの取付け



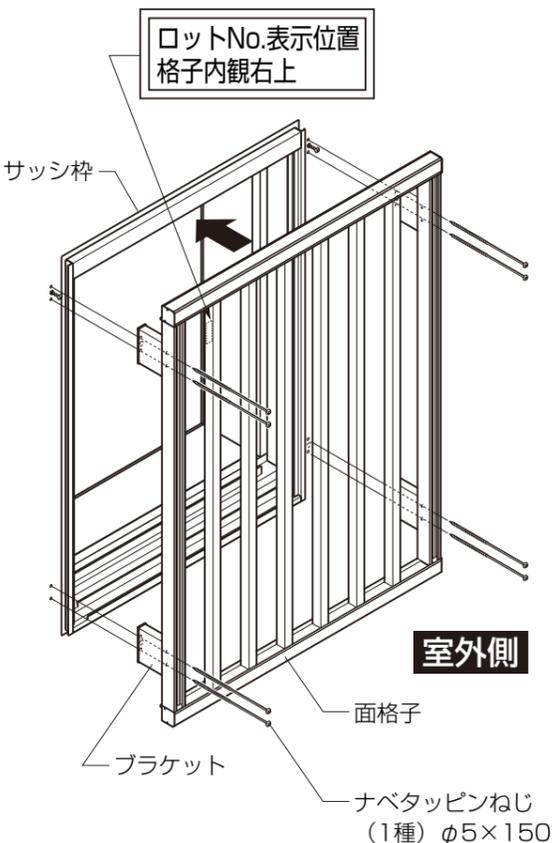
室外側

2 躯体取付ねじ下穴あけ



室外側

3 躯体への取付け

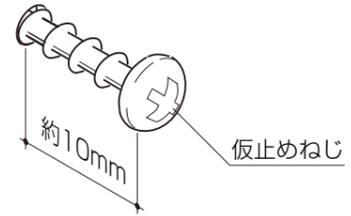


室外側

■取付け詳細

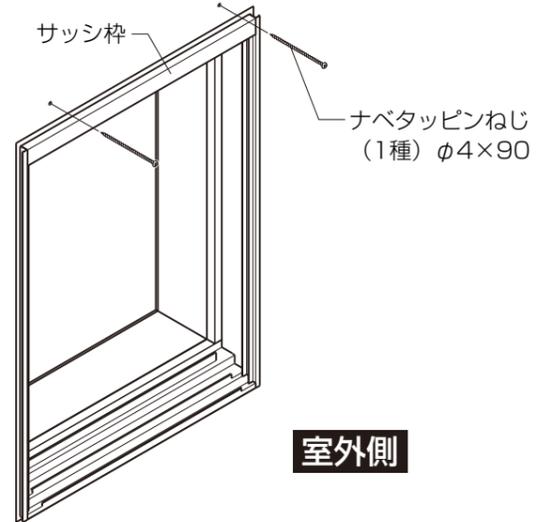
1 仮止めねじの取付け

- ① 仮止めねじ取付け位置に下穴(φ3.5)をあけコーキング材を充てんします。
※取付け位置は納まり図を参考にしてください。
- ② 仮止めねじ(ナベタッピンねじ1種φ4×90)を10mm程度残してねじ込みます。



■入隅仕様の場合

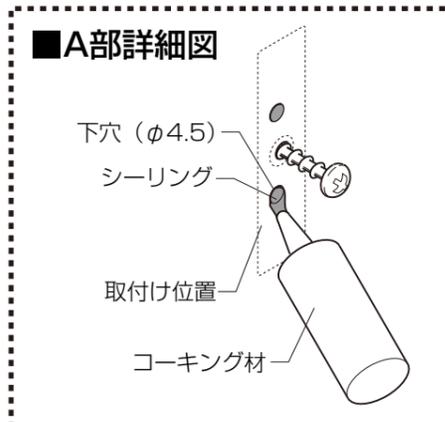
- 入隅仕様の場合はサッシ枠の上側に仮止めねじをねじ込みます。
- ※ 躯体取付ねじが、まぐさ・窓台にかかるようにしてください。取付け位置は納まり図を参考にしてください。



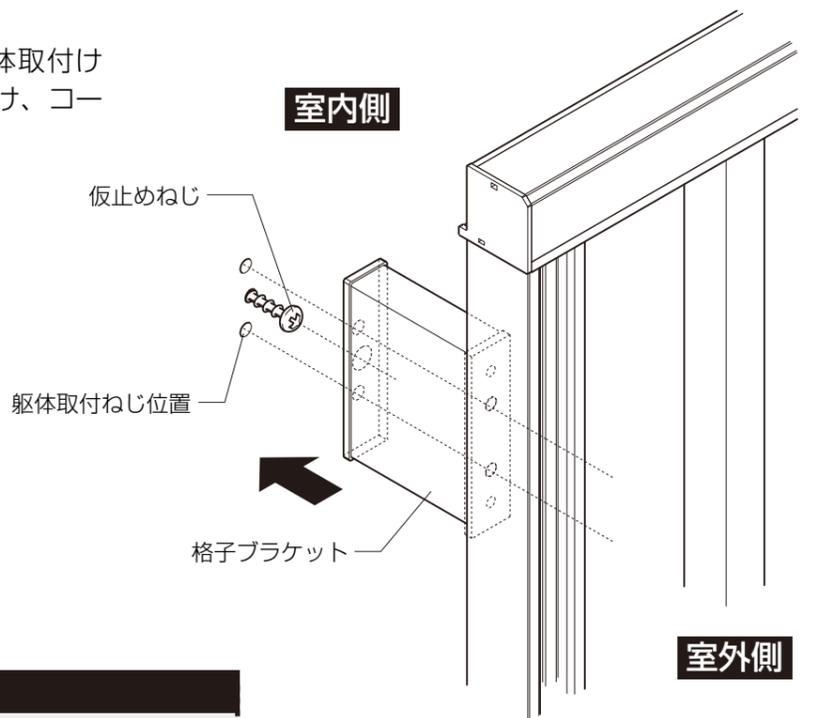
室外側

2 躯体取付ねじ下穴あけ

- ① 仮止めねじに格子ブラケットを引掛けます。
- ② 躯体取付ねじ位置に印をつけます。
- ③ 格子を仮止めねじからはずし、躯体取付ねじの印位置に下穴(φ4.5)をあけ、コーキング材を充てんします。



■A部詳細図



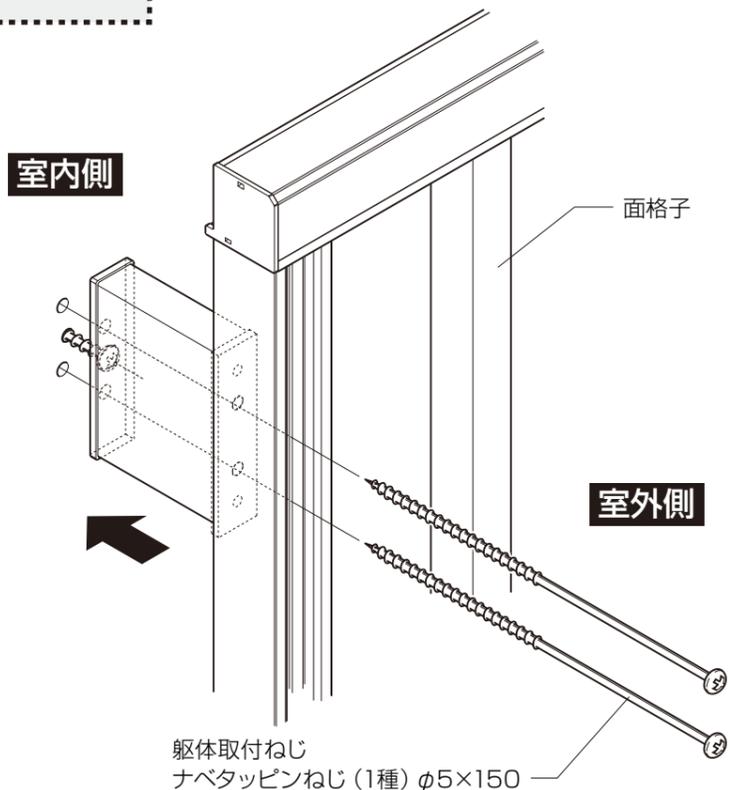
室外側

▲ 注意

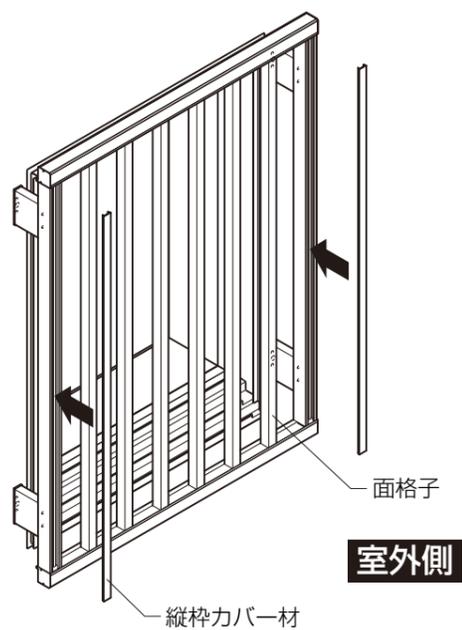
- 下穴は必ず柱のある部分にあけてください。柱のない部分にはあけないでください。
- 下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。

3 躯体への取付け

- ① 仮止めねじに格子ブラケットを引掛けます。
- ② 躯体取付ねじ(ナベタッピンねじ1種φ5×150)にて面格子を躯体に固定します。
- ※ 取付け位置に問題がないことを確認のうえ必ずねじ頭の十字穴を削ってください。

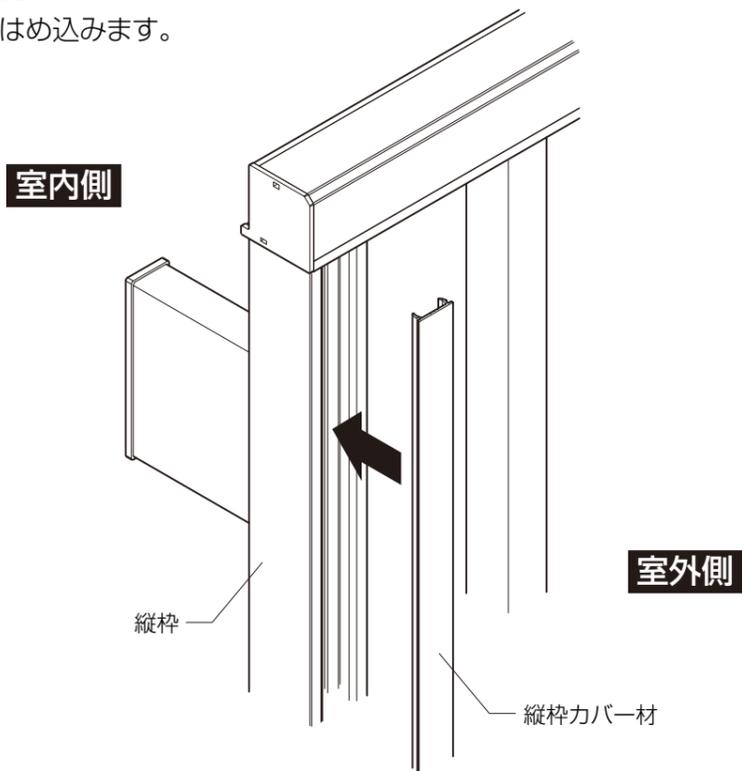


4 縦枠カバー材の取付け

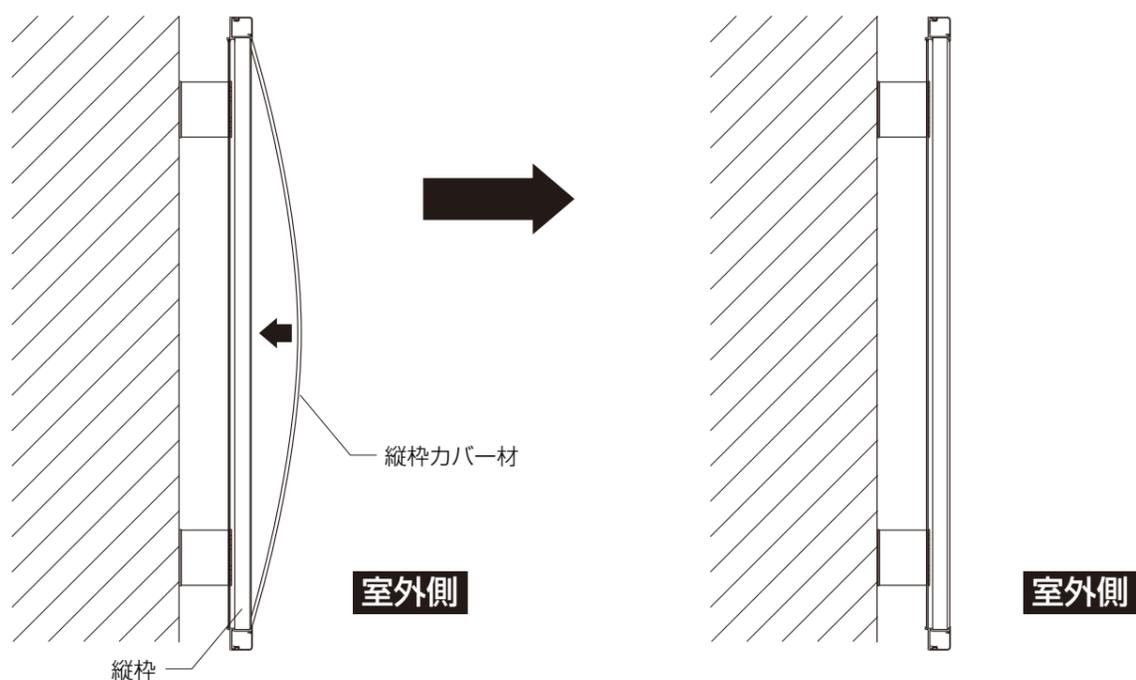


4 縦枠カバー材の取付け

● 縦枠に縦枠カバー材をはめ込みます。

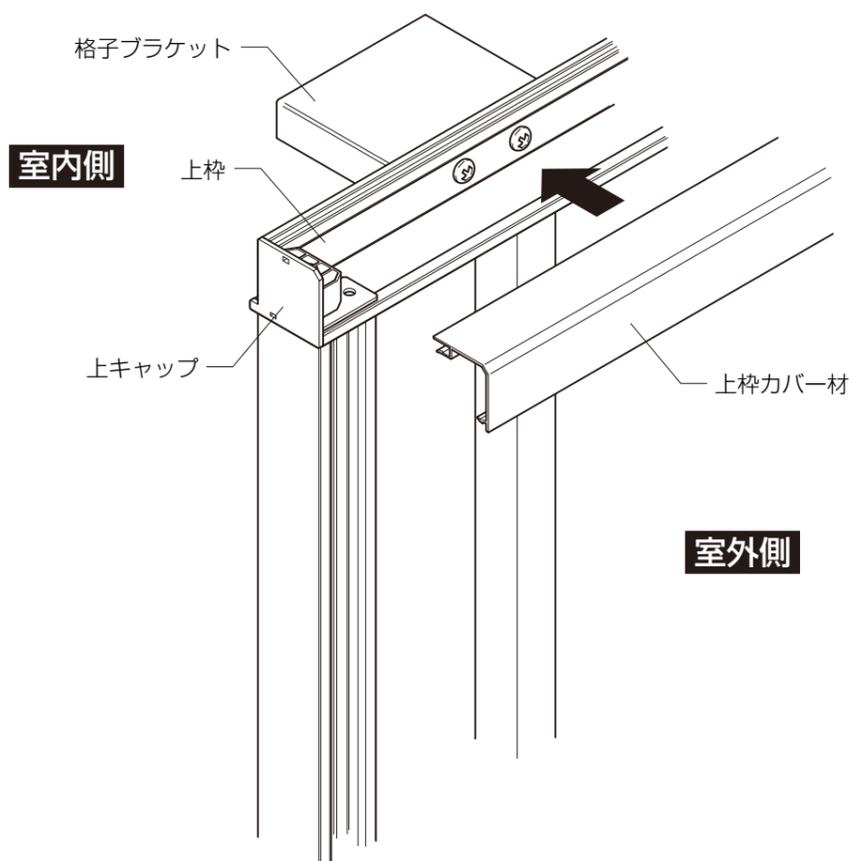


● 縦枠カバー材は、先に上下をはめ込み、最後に真ん中をはめ込んでください。



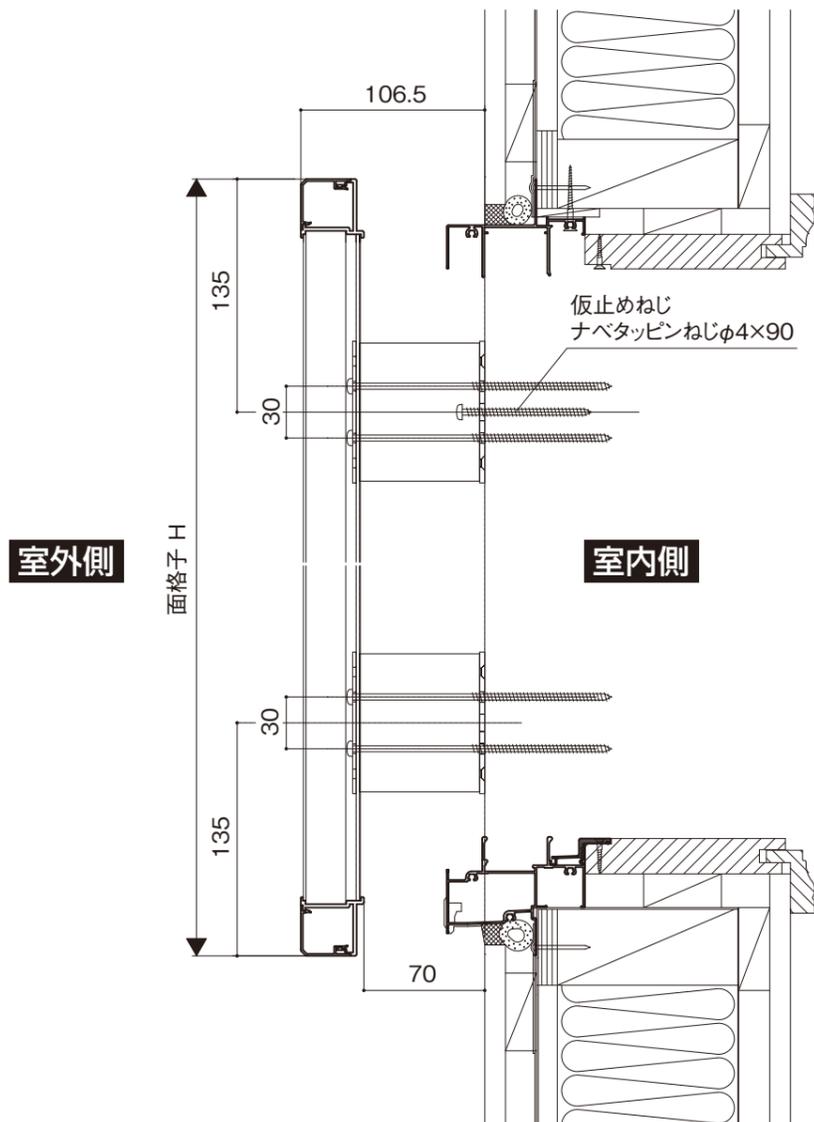
■ 入隅仕様の場合

● 入隅仕様の場合は上下枠に上下枠カバー材をはめ込みます。

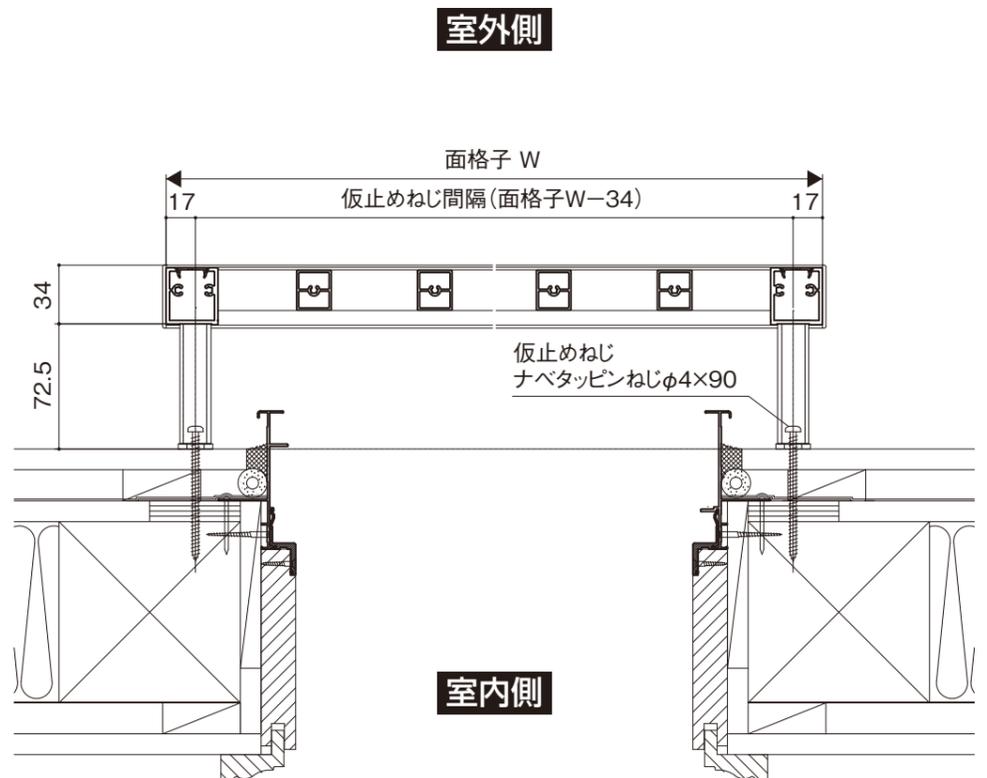


■納まり図

■縦断面図

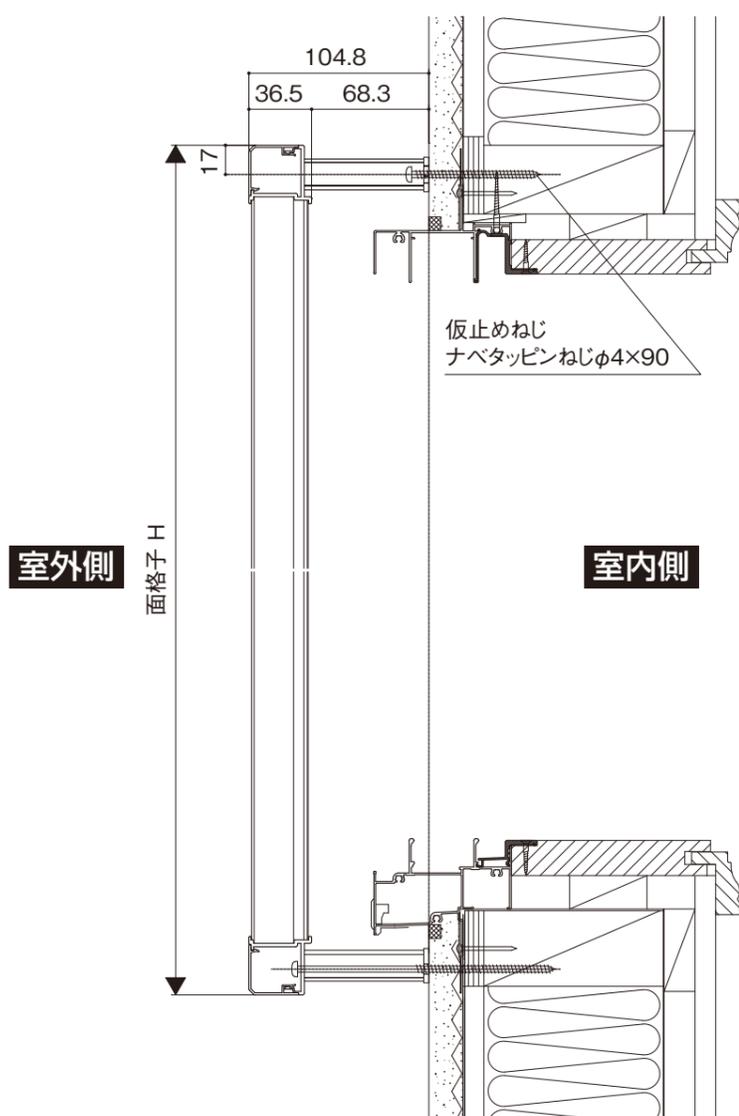


■横断面図



■納まり図(入隅仕様)

■縦断面図



■横断面図

